



## NEWS RELEASE

### JCU、中国に表面処理薬品の工場を新設 30億円投じ2019年10月稼働、顧客サポート力高め自動車・スマホ向け拡大へ

株式会社JCU（代表取締役会長兼CEO：小澤恵二）は、中国の湖北省仙桃市に技術サポート機能を兼ね備えた表面処理薬品の工場を新設いたします。2018年3月に着工、2019年10月に製造を始める予定で、総投資額は1億8000万元（約30億円）。中国ではJCU初の工場となります。グループ売上高の約30%を占める中国市場において技術サービス体制を強化するのが狙いです。生産予定量は2019年500トン、2021年2900トン、2025年4300トンを見込み、2025年には中国での自動車・電子向け総販売量予定9400トンのうち46%を新工場から供給する計画です。中国市場における表面処理薬品はこれまで委託生産によって対応してまいりましたが、これにより供給リスクを回避します。評価試験などを中国内で行えるようになり、顧客サポート力を一層強化します。

新設する中国工場は武漢から車で1時間半ほどの湖北省仙桃市高技術産業開発区新材料産業園に立地し、2017年10月に現地法人「JCU表面技術(湖北)有限公司」を設立します。工場は2階建てで、敷地面積5万6695㎡、床面積2万3000㎡。従業員は19年15人、21年25人、25年以降29人を計画しています。JCUの現地生産工場は韓国、タイ、ベトナム、メキシコに次いで5カ国目となります。

中国市場における自動車部品向け、スマートフォンのプリント配線板向け表面処理薬品の販売は好調に推移しています。自動車については、エンドユーザーである日系自動車メーカーの現地生産・販売が好調で、今後も販売数量増を期待しています。一方、スマートフォンについては、ハイエンドスマートフォンの需要が一巡する中で、中国系スマートフォンはインド、アフリカなどへ市場を拡大していくと予測しています。こうした中で、顧客の要求に迅速に応えるための体制整備が課題であり、工場新設を決めました。グループ売上高に占める中国の比率は、3年後に35～40%に高まると予測しています。

中国で新設する工場と合わせて、既存の委託生産先も併用し、リスク分散を図りながら供給してまいります。また、顧客の評価試験はこれまで日本の総合研究所に送って試験することが多く、中国工場で評価試験を行うことにより顧客サポートを大幅に迅速化します。これらにより競争力を高め、スマートフォン向けは既存の台湾基板メーカーに加え、中国のローカル基板メーカーへもシェアを拡大していく計画です。

JCUは今年8月、約4億5000万円を投じて台湾の桃園市に新社屋を建設し、台北市と桃園市に分かれていた現地法人を統合しました。今後も日本国内のみならず、海外市場における迅速でキメ細かな顧客サポート体制を構築してまいります。

【設立する子会社の概要】

- ・商号： JCU表面技術(湖北)有限公司
- ・所在地： 中華人民共和国湖北省仙桃市
- ・代表者： 小澤 惠二
- ・事業内容： 表面処理薬品の製造、販売およびめっき試験加工および分析等技術サービスの提供
- ・資本金： 180,000 千人民元
- ・設立： 2017年10月(予定)
- ・持分比率： 当社100%

【本件の問い合わせ先】

株式会社 JCU 経営戦略室 王依緋(おう いひ)

TEL : 03-6895-7004 FAX : 03-6895-7022 E-mail : [kikaku@jcu-i.com](mailto:kikaku@jcu-i.com)

以上